



胸に愛國手に國債

平局の國債賣出し好消化

支那事變國債二萬八千三百四十圓を割當せられた平局の賣出が去る二十二日の第一日八千四百圓が飛ぶ様に捌けた好成績は既報の如く其の後引續いての賣上げは

第二日(廿三日)四千六百四十五圓 第三日(廿四日)三千六百九十圓 第四日(廿五日)二千二百九十圓

合計二萬五千五百五十五圓を消化されて今二十六日の在券左記の如く此の額面額七千八百五十五圓に對し二千圓位の消化を見込み通りとせば残るものは五千八百五十五圓に止まり明廿七日から九月二日まで七日を剩す期間内の賣切を確實と豫想され國民の赤誠を喜ばれてゐる。

延 期

八幡社例祭

平市八幡小路鎮座八幡社例祭は毎年九月十四、十五が例祭で流鏑馬の古事その他に名を知られてゐるが本年は適々防空演習施行中に當るの十八、十九兩日の例祭に延期されたが非常時下に於ける武神の本年祭は警察大會その他特に應はしき催物に馬力をかける由である。

四倉市場の初取引

今日の出荷二百貫

産地は石城郡小川村方面

取引値は四十四、五圓

四倉市場は既報の如く今二十一日から開場された當日の出荷は約三百貫で茨城縣のサトウ製糸、本縣の船引製糸その他依託買入敷名を以て午後二時過ぎ離合に臨んだが早場の商の出来は良好と云へず取引値は大抵四十四、五圓と見

日頃から出廻り盛期に入りて二千五百乃至三千貫、三十日及び三十一日が出廻りでありと豫想されてゐる。

坂井経済部長

鮫川堰視察

石城郡鮫川堰の復活を小若野町町長と提携すべく交渉の橋梁(二期)三十四日(同)四倉小川開大野村地内橋梁(二期)十日(同)の公入札を今二十六日午後行はれた。

平土木の入札

平土木監督所では災害復舊工事懸賞三棟勿論停車場線の橋梁(二期)四十二日(同)同道路線橋梁(二期)三十四日(同)四倉小川開大野村地内橋梁(二期)十日(同)の公入札を今二十六日午後行はれた。

訓盲院の汗の結晶

全部國防費に献金

平市警備訓盲院の生徒職員が療治を断つたが昨年来夏季第一線にある皇軍の勞苦を憐れ不休の盲人達の健氣を奮まらせた今夏季の一月月間を不休の半額を以て治療に應じて得たる收入全部を軍事方面に職員生徒間に打合されてゐるが全部國防費に献金されるもの如く昨二十五日同奉仕

救はれた親子四名

更生に感謝の手紙

平署橋本警部に隠れた美譽

警察署に人相相談所を開設されて以来同所に取扱はれた事件及び其の人員は相當多數に上つてゐるが人相の識者に更生せるものも少なくない中に目下北道札幌市に居住する佐藤ふく(三)さんの如き三人の幼兒を抱えて途方にくれたが夫に病死されて愛見共々父の縁故地北海道に歸つ

たが頼りと思ふものが一人もなく自身の郷里本縣福島市在清水村まで乏しい旅費で立戻る途上津輕海峽で母子四人海中に身を投げかけた幾度も思ふたものを辛うじて福水村にたどり着いて見えたが此所でも自分等を見向いてくれるものが一名もなく途に福島省に泣き込んだのが本年三月、係りの橋本警部が更生の途を説いて若干の金を恵み北海道へ渡

戦地に残るは南支の一角

御心配御無用に候

山田 均

拜啓、御手紙がたく拜見仕候、今や國內情勢多事多忙の時御役目御尊堂様には取分け御多忙の事と御察し申上候、我が部隊は南京攻略後各地に第一線の警備の任に服し〇月〇日より徐州攻略に参加いたし五月十九日徐州を落し其の後南下して現在〇〇〇〇の地に次期行動の準備を致し居り候、皇軍の意氣益々旺盛なるも相次ぐ敵飛行軍に一時は疲れ其の上難關に遭遇すること時折これありされど銃後の皆様を思ひ超しては奮起

敵首都上流を進軍中

山田 均

拜啓、原隊出發一路〇〇〇〇に向ふ下會の敵首都〇〇〇の上流〇〇〇に進軍中に御座候、戦線生活の詳報出來得ざるは洵に遺憾に御座候、萬事御諒察下され度候、開業日尚遠き敵生の留守中何卒宜しく御願申上候、酷暑同費の中へ金二十圓の寄附を折柄一層御健花を御祈申

防空演習に準備協議

准備協議

明日平市中

平市では近く行はれる防空演習に先立ち明日二十七日午後一時から市會議事堂に行政區長その他各種團體代表者を招き防空防火、防空訓練準備その他につき協議をなす

訪ねた家の不在から時計を窃取

石城郡内郷村の高坂中平管原五郎氏が八月で満期するので二十九日午後任に關する村會招集の筈であるが再選されるもの、如くである

内郷收入役選舉

石城郡内郷村では收入役藤藤彌一郎氏が八月で満期するので二十九日午後任に關する村會招集の筈であるが再選されるもの、如くである

公會堂へ寄附

平市字白銀町出身志賀雄伍氏は兩角部隊下に活躍されてゐるが市公會堂の新築に對し同費の中へ金二十圓の寄附を市役所へ送り越されたので第

魁文堂

代理店

- 一 茨城縣縣誌、一 茨城縣縣誌(原)
- 一 磐前縣(原)
- 一 磐前縣(原)
- 一 磐前縣(原)
- 一 磐前縣(原)
- 一 磐前縣(原)
- 一 磐前縣(原)
- 一 磐前縣(原)
- 一 磐前縣(原)
- 一 磐前縣(原)

歸省漫筆

(11) 勿來庵

諸根生

- 一 磐前縣(原)
- 一 磐前縣(原)
- 一 磐前縣(原)
- 一 磐前縣(原)
- 一 磐前縣(原)
- 一 磐前縣(原)
- 一 磐前縣(原)
- 一 磐前縣(原)
- 一 磐前縣(原)
- 一 磐前縣(原)

高島屋洋行

御朱印の贈呈

高島屋洋行

農業

澤庵から

奈良漬へ

(上) 需要は無限に
軍需に臨る漬物

軍需景氣の波に乗って関連した関連をつけてある農産加工事業に東京府下の「保証責任北多摩郡漬物販賣購買組合」がある、東京市の膨張につれて開祖の地練馬村を逐はれ隣地北多摩郡北部地方へ流れ込んだ練馬大根がそこに根を張って本場のお練馬大根を奪ふに至つたのを目をつけた、同郡農會がこいつを合理的に生かして農村更生策に漬物を目論んだのだ、そこで昭和十年二月に組合が結成され先づ目標を農家の協力組織による努力と資源の活用による生産中心地の久留米、小平兩村の農家五百四十六戸をもつて組合を組織し兩村に一万五千圓を投じて工場一ヶ所づつを建設したのである、

【建物】貯蔵庫九〇〇〇坪、同付属物置一〇〇〇坪、同周囲の廂八九〇〇坪、作業場五〇〇〇坪、事務所二・七五坪、便所一・五坪、計二八三・二五坪(兩工場同じきもの)
【器具】は押板(二間もの)一〇〇〇枚、横板(七尺もの)五〇〇枚、枕木(二寸×二・五寸)一・五〇〇枚、洗桶(大、中、小)一〇個、渡板(二間、三間、四間もの各二ヶづつ)六個、原石(一〇トン車)二〇車
【出資】は一〇二十圓として出資第一回の拂込み額は一口につき二圓、

◇一般印刷物も
舞引受致します
新しいわき新聞社
印刷部

牛も豚も優良品の自慢
肉の御 三三三屋 平市 田町
用命は

正確な体温計
なる寒熱計(種各)
計量器指定販賣
平市五丁目角
山野邊薬局

デリーサービス

品目	品名	品目	品名
月カツレツ	三ツキ	火子カツ	三ツキ
火子カツ	三ツキ	水エビ	三ツキ
水エビ	三ツキ	メンチ	三ツキ
メンチ	三ツキ	ポーク	三ツキ
ポーク	三ツキ	コロッケ	三ツキ
コロッケ	三ツキ	フライ	三ツキ
フライ	三ツキ	ハンバーグ	三ツキ
ハンバーグ	三ツキ	ステーキ	三ツキ
ステーキ	三ツキ	カレー	三ツキ
カレー	三ツキ	ライス	三ツキ
ライス	三ツキ	デザート	三ツキ
デザート	三ツキ	飲み物	三ツキ

特にマルトモの
ランチは...
材料のよさをかきかきして居る為め其の節々のおいしい新鮮な物を御進め出来ましますので御進めからいづれも御好評を賜って居ります

御来店御召上りの時も御來客御用仕出し等統べて御進め段を御示し下さつてまきかかせ願へますれば季節の材料で美味快進なものを御進め上出来ましますので是非に御好評を御座います

RESTAURANT MAJUTOMO
堂食モトルマ
平市停車場通
電話二二三

病室増築、手術室完備
産科 醫學博士
婦人科 五十嵐雄二
平市新川町一電話二六九番

診療科目
一、齒科 一般
保存科、補綴科、矯正工科、齒列矯正科、小兒科、齒槽膿漏科、
一、口腔外科
一、レントゲン科
平市田町(松月堂向ヒ)
中野齒科醫院
院長 日本齒科醫學士 中野憲次
日本齒科醫學士 堀谷伍郎
補綴部主任 佐藤重義

債券 公債 兩替 金融
多田井質店
平市大工町
電話五九一

平病院 (平市元共済病院跡)
院主 院長 醫學博士 鈴木定藏
内科 部長 鈴木定藏
小兒科 部長 佐藤幾要司
皮膚泌尿科 部長 高橋俊幸
外科 部長 鈴木定藏
物理療法科 部長 鈴木定藏
薬劑科 部長 吉本孝平
診療時間 毎日午前八時より午後九時まで
夜間診療に従事す(急患は此の限にあらす)

サロイン
食。 喫。 酒。 喫。 喫。
喫茶。 茶。 酒場を兼ねた。
平市田町
電話二五三

表代城磐
酒銘
美味経濟
ヤマモト醤油
油醬
山崎合名會社
電話十番

大河内
整形科醫院
平市搔搦小路
電話五八八番

御婦人用 御子様用
陳列
簡單衣
豊富
ツルヤ
平市四一四
電話一四〇

和洋銅鐵、金物問屋
店商屋釜
九九・九電